

教育活動について

- ・仲間や先生を思いやる気持ちを持つことができるようになりました。一生懸命「やれる子供」になった気がします。お世話になりました。
- ・6月の授業参観で拝見した「働くために大切なこと」を話し合う授業は『生きる力』を培う上でもとても意義のあるものだと感じ、このようなことを学ばせていただく機会があることに感謝いたします。
- ・体を動かす機会が増えて嬉しいです。(陸上や球技)
- ・告げ口をしてくる子がたくさんいます。お友達の良いところに目を向けられるようにご指導していただければと思います。
 - ⇒ 帰りの会での「よいところ探し」など、長所を認め合う場を工夫していきます。また、道徳教育を充実させ、相手の良いところに目を向けることを指導していきます。
- ・落語のプロの方を呼ぶなら保護者ももっと見に来たらいいのに。学年を越えてはだめですか。
 - ⇒ 落語については4年生の「総合的な学習の時間」の外部講師としてお願いをしました。「開かれた学校」の視点からも、鑑賞の機会がある場合には、広く保護者の方にお知らせをし、参観いただけるようにしていきたいと考えます。
- ・昨年まで行っていたチャレンジテストはなぜなくなってしまったのでしょうか。基礎学力を定着させるための取組として替るものを実施しているのか教えてください。子供もテストに向けて頑張ったり、それを親としては褒めたり励ましたりしていたので、ぜひ続けてほしいと思っていたところです。
 - ⇒ 今年度は朝の時間に「ぐんぐんタイム」を設け、全校・学年で基礎的な能力の定着を図る時間としてチャレンジテストやプリントなどに取り組んできました。今後、より効果的な進め方を検討していきます。
- ・朝の特設クラブ練習や業間休み・昼休み時の委員会活動で、子供の時間が少なくなっている気がする。特に6年生は、中学生活に向けて総復習などを行いたいが、学校の活動に時間を取られている。子供の「自立心」を育てるのは良いが、めりはりをつけてほしい。
 - ⇒ 高学年になると、学校全体のために活動することが多くなります。高学年は、学校のために役に立っているという自己有用感や自立心を、低中学年児童はそれを見て高学年に憧れや感謝の気持ちをもつようになります。また、朝や放課後を使って精一杯特設クラブの練習に打ち込むことで目標に向かって頑張り抜く力が付いてきます。しかし、そのことで児童の休憩時間や気持ちをリラックスさせる余裕がなくなるのは本来の目的から外れています。子供にどんな力をつけさせるのかを明確にし、今一度活動の在り方を全職員で検討し、行事や活動を精選していきたいと考えます。
- ・轟町小学校には「ひまわり学級」があります。いつもひまわりの子供たちにたくさんのエネルギーをいただいておりますが、我が子に「どういうクラスなの？なんでひまわり学級があるの？」と聞かれてうまく答えられませんでした。入学の際などに学校でひまわり学級について説明していただける機会があったらいいと思います。
 - ⇒ 今後ひまわり学級と通常学級の「交流および共同学習」をさらに推進していく必要があります。

- す。ひまわり学級への理解が深まるような機会を設定し、一層の交流を目指していきます。
- ・おいしい給食をいつもありがとうございます。せっかくの給食をもっとおいしくするために、例えば「献立のポイント」がもっと大きな字で献立の横の欄に書かれていれば…と思います。
 - ⇒ 「食育」の観点からも、献立のポイントが一目瞭然になる工夫は効果的であると考えます。学校給食をきっかけにして、食に関する興味関心を一層高まるものと思われま。
 - ・1年生からも英語の授業を導入し、何らかの形で国際理解が深まる機会をお願いします。
 - ⇒ 国際理解教育は英語の学習だけでなく、学校の教育活動全般で行っています。例えば、我が国及び諸外国の音楽文化に触れたり、給食で提供される献立から食文化に興味をもたせたりといったものです。異文化の理解とともに我が国の文化や伝統にも目をむけられるよう、計画的に指導に当たってまいります。
 - ・1～4年生で個人アルバムを作成してほしいです。
 - ⇒ 指導計画の中への明確な位置づけが必要となります。例えば生活科や総合的な学習の時間の中での学習計画です。児童にどんな力を付けさせるためにどんな活動をめざすのかを明確にする必要があります。
 - ・卒業アルバムは児童主体で作成してほしいです。アルバムに掲載する写真は児童に選ばせてほしい。
 - ⇒ 卒業アルバムは実行委員児童が中心になって作成しています。写真につきましては、個人情報を守る観点から、年度初めに保護者の方に写真掲載の同意書を提出いただいています。

安心・安全な環境づくりについて

- ・完全下校時刻を大幅に過ぎても昇降口から出てこないことがたびたびあります。時間通りに終わらせることは大変だと思いますが、下校が一人になったり防犯上の観点からとても心配になります。
 - ⇒ ご心配をおかけし申し訳ありません。子供たちの安全は最優先しなければならないことです。下校時刻については学年内で揃え、お伝えしている時刻には校門を出るように徹底してまいります。
- ・エアコンの設備、洋式トイレを。
 - ⇒ 千葉市立ですので、エアコンの設置は千葉市の判断です。よって学校では、気象に応じて活動内容を配慮していく等の対応をとります。洋式トイレについては、千葉市全体のバランスで考えると、現状での対応が適切であると考えます。
- ・朝夕、通学路にタクシーが毎日停まっています。今までに交番の方へ連絡を入れてくれた方もいますが、いなくなるのはその日限りです。歩道がない道のため、たくさんの子供たちがタクシーの陰から顔を出して前から車が来ないか確認して歩いています。学校からも交番もしくは保健センターに相談してもらえないかと思います。
 - ⇒ 実際に停車しているのを確認しました。管轄の警察署を通してパトロール強化をお願いしました。同時に、子供達への注意喚起もしていきます。
- ・インフルエンザの流行時期等、ホームページでその後の状況をアップしていただけると助かります。
 - ⇒ ご助言ありがとうございます。よりタイムリーな情報をお伝えするために、ホームページの活用も含め、検討してまいります。
- ・体育館裏のフェンスに立入禁止の注意書きがあります。子供の目の高さに「ひらがな」でもう一つつ

けていただくと分かりやすいので助かります。

⇒ 早急に対応するようにします。

・なかよし活動が少ないと感じます。

⇒ なかよし活動は、28年度は年間10回実施しました。現代社会の要請により、学習指導の他に、食育・人権尊重教育・健康教育・道徳教育・交流及び共同学習等、さまざまな活動が教育現場に任されています。轟町小学校では、知・徳・体の調和のとれた発達をめざして、それらをバランスよく配置しています。29年度も今年度とほぼ同様の回数で計画をしようと考えています。

学校と家庭・地域の連携について

・地域や外部との連携がこれからますます増えていくと予想されますが、その際、窓口になる先生以外に複数の先生方でことにあたったほうがスムーズにいくかと考えます。学校の主幹を担う先生方がかかわって、どんな場でも通用するようなマニュアル作りが省エネかつ大きな成果につながるのではないかと思います。

⇒ 今後、地域との連携は体験活動の充実からも不可欠なものとなります。そのため、学年のスタッフが入れ替わったとしても同様の対応ができるような、「何時でも誰でもどんな場でもつかえる」マニュアル作りは重要であると考えます。

・学年だよりの写真が見づらいです

⇒ なるべく見やすいように印刷はしていますが、印刷機の機能に限界があります。できる限り鮮明に印刷できるよう工夫をしていきます。学校だよりはホームページにアップされていますのでそちらもご覧ください。

・学校生活の写真がほしいです。せめて校外学習くらいはあるといいかと思います。

⇒ 個人情報を守るという観点から、学年だよりに掲載する写真は個人が特定されないものと限定しています。今後、できる限り鮮明な印刷になるように努めてまいります。5年生の移動教室や6年生の農山村留学は、卒業アルバム委託業者のカメラマンが同行し、撮影したものを販売しています。

・JR 稲毛駅近くの整骨院にお世話になっています。人参の出張授業の話題になり、院長が「スポーツのけがとか予防とかいろいろ話してみたい」と話が出ました。運動会や何かのスポーツ大会の前など、機会がありましたらお声をかけていただければと思います。

⇒ 専門家にお話を伺うのは、子供たちへの定着の仕方が変わってきます。指導計画の中に計画的に取り入れられれば、積極的に外部講師を招聘したいと考えます。

・給食の白衣ですが、4月の段階ではすでにあまり清潔感のないものを着ておりました。汚れというよりは墨汁？お洗濯の失敗？と思います。保護者の方にも家のものではないものを洗うので注意してもらおうほうがいいのではと思いました。

⇒ 就学時にお願いするようにします。また、学級でも着用の仕方については十分指導し、子供たちが清潔なものを身に着けられるように配慮していきます。

・希望世帯のみにでも、家庭訪問は必要なのかなあとと思います。

⇒ 4月は懇談会があり、本校は大変たくさん保護者の皆様にご出席いただいています。個別

の対応は難しいところがあるかもしれませんが、家庭と学校とのつながりのきっかけづくりとしてはよい機会であるにとらえています。しかしながら、一人一人の子供の理解と対応のためには家庭訪問が望ましいケースもあるかもしれません。今後検討していきます。

教師の指導について

- ・休んだ時に授業のフォローをしてもらえてとても助かっています他の面でも気遣いをしてもらっているので感謝しています。
- ・担任の先生には子供一人一人のもつ個性を尊重しつつ導いてくださっていることに感謝しています。毎日子供からは学校の様子をたくさん聞き、クラスの雰囲気がよくわかりました。子供は先生のことをとても信頼している一方で、時に、連絡や意思疎通が十分に取れないことがあり、親として不安に思ったこともありました。
 - ⇒ 連絡帳や学年だより等を活用し、連絡を密にしていくようにします。また、担任外の職員でも情報を共有し、迅速な対応が取れるよう「報告・連絡・相談」を徹底してまいります。
- ・他の人と比べたおこり方をするのはやめてほしい。子供に失礼です。
 - ⇒ 子供の人格を尊重し、個々の良さに目を向けたり、個人の中の伸びを称揚したりしていくよう担任に指導してまいります。

家庭学習について

- ・家庭学習をさせると、基本的なことが身に付いていない様子も見られました。家でも取り組めるドリルがあると家庭学習で基礎的なことに取り組みやすいかなと感じています。
 - ⇒ 家庭学習のねらいは、学習習慣を身に付けさせること、基礎的な学習の力を定着させることにあります。それぞれのお子さんの実態に合った学習が大切であると思います。4月に配布しました「家庭学習の手引き」に記載されています「家庭学習の内容」に例が記載してありますのでご覧になり、ご家庭で工夫していただけますようお願いいたします。

その他

- ・「育てたい子供の力については」個人差も大きい内容があると思いました。
- ・運動会の昼休みにお菓子を食べたり飴をなめながら走り回る児童を見かけています。運動会は体育の授業と聞いておりますので、保護者へ、お菓子・ジュース等は控えていただくよう案内を出していただきたいです。
 - ⇒ 確かに運動会は学習の成果発表ですので、通常の学校生活と同様の約束であると考えます。ただし、担任から離れており、マナー等につきましては保護者の方をお願いするところです。事前にお手紙で周知していくようにします。
- ・お弁当の日にゼリーを持ってくるお友達がいたと聞いています。保護者へ控えた方がよいものを提示してほしいです。
 - ⇒ お弁当の日は、学校の給食と同様の考え方であると捉えます。学校ではデザートとしてゼリーは提供されることがあります。お手紙等で周知していきます。